九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ NO ECOLOGY. NO BUSINESS

K-RIP情報

KYUSHU RECYCLE AND ENVIRONMENTAL INDUSTRY PLAZA

vol.2 #2015

(一財)九州産業技術センター
九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-24
TEL 092-474-0042 FAX 092-472-6609
URL http://www.k-rip.gr.jp



イノベーションネットアワード2016表彰式　Ｋ－ＲＩＰ鶴田会長
「経済産業大臣賞」受賞

《Contents》 《Page》

Ⅰ．九州－ＡＳＥＡＮ環境産業交流事業 1～9

Ⅱ．技術シーズ発信・個別商談会 10～11

Ⅲ．環境ビジネスアライアンスマッチング事業 12～14

Ⅳ．環境技術の一次産業への展開事業 15～16

Ⅴ．環境ビジネス交流会 17～18

Ⅵ．環境ビジネスの創出と人脈形成の場「エコ塾」 19～23

トピックス 「経済産業大臣賞」、「環黄海経済・技術交流大賞」受賞 25

Ⅰ.九州－ＡＳＥＡＮ環境産業交流

ＡＳＥＡＮ地域は、急速に工業化・都市化が進み、公害防止や産業廃棄物処理、資源リサイクル等の対応が急務となっており、環境ビジネスの市場が拡大しています。

Ｋ－ＲＩＰでは、会員企業のビジネスベースでの受注獲得を目指した海外環境プロジェクトを組成するため、ミッション団の派遣等を通じて、現地政府関係機関等との官民協議の実施や現地調査、現地企業とのビジネスマッチングを実施しました。

１．マレーシア環境プロジェクトミッション団の派遣

Ｋ－ＲＩＰは、これまでマレーシアと環境プロジェクト組成にかかるＬＯＩ（基本合意）を締結し、Ｋ－ＲＩＰ会員企業による水プロジェクト、エネルギープロジェクト、廃棄物リサイクルプロジェクトの推進を支援してきました。

今回のミッションでは、各プロジェクトの具体化を進めるとともに、マレーシアにおける新規の環境プロジェクトの組成や、現地企業とのビジネスマッチングを図るため、これらのＫ－ＲＩＰ企業を中心したミッション団を派遣し、現地パートナー企業候補との協議や政府関係機関等の訪問等を行いました。

＜スケジュール＞

日　程	スケジュール	活動地域
12月13日 （日）	※移動：福岡→（シンガポール）→クアラルンプール	
12月14日 （月）	◇マレーシア廃棄物管理協会（WMAM）訪問 ・マレーシア廃棄物管理協会会員企業とビジネスマッチング ・水処理プロジェクトの協議 　会員企業と現地企業等との協業契約書（TA）締結	クアラルンプール
12月15日 （火）	◇各プロジェクトの具体化支援　現地協議等を支援 （水処理プロジェクト） ・プロジェクトの具体化や現地合弁会社設立に向けた協議 ・現地法律事務所訪問 （廃棄物プロジェクト） ・マラッカ市へ現地実証提案、パイロット事業候補地視察 ・マレーシア廃棄物管理協会会員企業との個別マッチング ◇一般廃棄物最終処分場（Cypark：バイオマス事業）視察	３チームに分かれ活動 ①セランゴール州 ②マラッカ州 ③クアラルンプール ﾇｸﾞﾘ・ｽﾝﾋﾞﾗﾝ州
12月16日 （水）	◇マレーシア投資開発庁（MIDA）訪問 　・バイオマス関係企業との面談 ◇パームオイル工場等視察	セランゴール州
12月17日 （木）	◇ジェトロクアラルンプール訪問 ◇現地日系企業との意見交換 ※移動：クアラルンプール→（シンガポール）	クアラルンプール
12月18日 （金）	※移動：（シンガポール）→福岡　（早朝到着）	

（１）マレーシア廃棄物管理協会（WMAM）会員企業とのビジネスマッチング

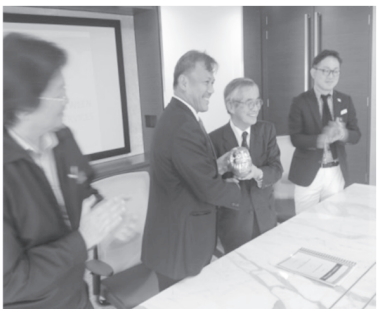


参加企業による
技術プレゼンテーション



WMAM会員企業との個別商談
（ビジネスマッチング）

（２）個別環境プロジェクトの形成支援



合弁会社設立に向けたＴＡ締結
（水処理プロジェクト）



マラッカ市役所とのパイロット事業協議
（廃棄物プロジェクト）

（３）マレーシア投資開発庁（MIDA）訪問



ＭＩＤＡ訪問
（Ahmad 副局長他）

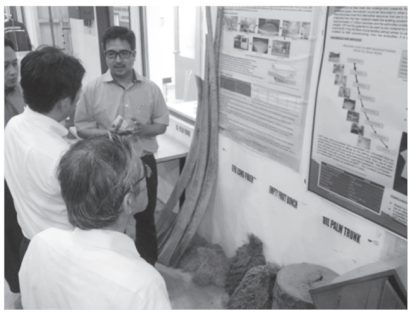


ＭＩＤＡ協力による現地企業４社との
ビジネスミーティング
（バイオマスプロジェクト）

（４）現地視察



パームオイル工場



パーム椰子殻リサイクル企業

２．ベトナム調査ミッションの派遣（ハイズオン省、ホーチミン、ハノイ）

ベトナムでは、経済成長とともに都市化・工業化の進展に伴う環境問題（水質浄化、廃棄物処理、エネルギー）が顕在化しており、環境規制が強化されたことも相まって、同分野の日本企業等に対して環境課題解決のプロセスや技術・ノウハウの移転に係るビジネスベースでの関心が寄せられております。

この様な状況の中で環境意識が高まるベトナムにおいて、環境ビジネスニーズ調査や現地コーディネータを通じた会員企業の個別マッチング支援を実施するため、環境プロジェクトに関するベトナム政府・現地企業との官民協議を実施しました。

また、ハイズオン省において、現地政府関係機関の協力を得て、現地企業等とのビジネスマッチングを実施しました。

＜スケジュール＞

日程	用務	活動地域
11月22日（日）	※移動：福岡→ホーチミン	ホーチミン市
11月23日（月）	◇タイソングループ（防衛省傘下大手国営企業） ◇ホーチミン市 投資・貿易促進センター（ITPC） ◇アンダオ社（建設業・蘭栽培等）	ホーチミン市
11月24日（火）	◇ベンチェ省投資促進局（IPA Ben Tre） ◇Sacombank ベンチェ支店（大手銀行） ※移動（ベンチェ省→ホーチミン） ◇企業間　機密保持契約締結式 ※移動：ホーチミン→ハノイ	ベンチェ省 ホーチミン市 ハノイ市
11月25日（水）	◇ハノイ環境保護基金（ハノイ市環境・天然資源局傘下） ◇AMA（不動産投資・開発会社） ◇農業農村開発省　穀物生産局 ◇科学技術省応用技術研究所	ハノイ市
11月26日（木）	◇ハイズオン省日越ビジネスマッチングセミナー（１日目） ◇現地視察	ハイズオン省
11月27日（金）	◇ハイズオン省日越ビジネスマッチングセミナー（２日目） ◇現地視察	ハイズオン省 ハノイ市
11月28日（土）	※移動：ホーチミン→福岡　（早朝到着）	

（１）環境プロジェクト推進に係る現地企業との機密保持契約の締結

環境緑化保全コンサルタント（株）がベトナムのアンダオ社と石炭灰リサイクル「くりんかロード」のベトナム展開に係る機密保持契約を締結しました。



（２）関係機関訪問によるプロジェクト組成の協議（現地ニーズ把握・技術提案の実施）



タイソングループ（国営企業）
環境、インフラ等の幅広い事業を実施



ホーチミン市投資・貿易促進センター
人民委員会傘下組織で投資・貿易促進機関



ハノイ環境保護基金
ハノイ市の環境関連の実証事業等へ
投資を行う基金（ファンド）。



ベンチェ省投資促進局
ベンチェ省はベトナム最大のココナツ産地

（３）ハイズオン省日越マッチングセミナー

＜プログラム＞

・ヒエン書記による代表挨拶
・ハイズオン省関係部署よりハイズオン省の事業環境について説明
・ハイズオン省各部門との意見交換
・参加日本企業によるプレゼンテーション及び個別商談会



ハイズオン省ヒエン書記表敬訪問



日越ビジネスセミナー



現地企業へ K-RIP の紹介



会員企業による技術プレゼン



個別商談

３．ベトナムミッション団の九州訪問

ベトナムにおける環境プロジェクトの形成、海外ビジネス展開の機会創出を図るため、ベトナム国営企業等で構成するミッション団を九州へ招へいし、現地において特に優先度の高い環境課題（廃棄物リサイクル、地盤改良、農業等）をテーマにとりあげ、九州地域の環境企業による技術プレゼン・個別商談会、企業訪問等を実施しました。

＜ベトナム側参加メンバー＞

	企業・団体名	役職	分野
1	ホーチミン市農業ハイテクパーク Agricultural Hi-Tech Park of Ho Chi Minh City	所長 Director General	農業
2	タイソングループ Thai Son Group	副社長 Vice General Director	環境・インフラ・不動産
3	グローバルポリテクニック社 GLOBAL POLYTECHNIC CORPORATION	タイ　ハ　支店長 Tay Ha Branch Director	人材派遣
4	グローバルポリテクニック社 GLOBAL POLYTECHNIC CORPORATION	通訳者 Interpreter	
5	ハンフックアンザン総合病院 Hanh Phuc An Giang General Hospital	取締役補佐 Assistant to Director	医療
6	グエンフン社 Nguyen Phuong LLC	農業アドバイザー Agriculture Advisor	農業
7	ティエンイー　株式会社 Thien Y Joint Stock Company	社長 General Director	コスメ・健康食品 ・薬・ハイテク農業
8	クア　株式会社 QUA Co., Ltd.	取締役 Director	食品輸出入
9	フンフォン　株式会社 Hung Phuong Corporation	社長 General Director	環境 （水処理・ゴミ処理）
10	ニャットナム建設会社 Nhat Nam Design Consulting Construction Corporation	社長 General Director	土木建設 ・バイオガスプラント
11	ビナキャトルブリーディングアニマル株式会社 Vinacattle Breeding Animal Joint Stock Company	技術部長 Chef of Technical Department	オーガニック （微生物作用、農薬）

（1）歓迎レセプション・意見交換会

日時：1 月 27 日（水）　15:30～17:30、　場所：ホテル日航福岡

内容：ベトナム側と日本側によるプレゼン及び意見交換を実施。





（2）企業プレゼン・個別商談会

日時：1 月 28 日（木）　9:00～12:00、　場所：ホテル日航福岡

内容：日本側による企業プレゼン及び個別商談会を実施し、具体的プロジェクト組成に向けたマッチングを実施。環境・農業・水産各分野で新規プロジェクトがスタート。





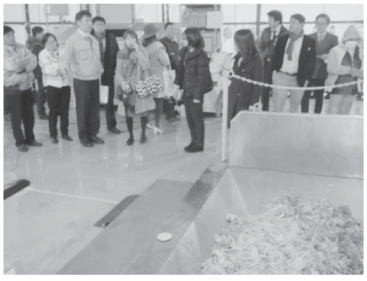
（3）企業訪問・現地視察

九州の環境・農業関連企業を訪問し、企業ヒアリングと意見交換、現地視察を実施。

◆エコタウンセンター、エコノベイト響（医療用具のリサイクル）、楽しい（株）（食品リサイクル）

日時：1 月 28 日（木）　14:30～





◆農研機構　筑後・久留米研究拠点（いちご・スプラウト植物工場等）訪問（福岡県久留米市）

日時：1 月 29 日（金）　10:00～





＜A:農業グループ＞

◆(株)築水キャニコム（農業用機械）訪問（福岡県うきは市）

日時：1月29日（金）　14:00～






＜B:環境グループ＞

◆(株)ワイビーエム（ボーリングマシン等）本社、岸山工場訪問（佐賀県唐津市）

日時：1月29日（金）　14:00～





◆(株)エコファクトリー（輻射式冷暖房）訪問、熊本県立体育館（エコウィン導入）視察（熊本県熊本市）

日時：1月30日（土）　10:00～





４．ベトナム環境プロジェクトミッション団の派遣

今年7月から実施したベトナム調査チームの派遣や事前協議の結果を踏まえ、Ｋ－ＲＩＰ会員企業を中心とした環境プロジェクトミッション団を派遣し、Ｋ－ＲＩＰ会員企業と現地企業との環境プロジェクト組成に係るＭＯＵ等の締結や個別ビジネスマッチング等の支援を行いました。

また、同時期に実施された九州経済国際化推進機構の経済ミッション団と連携して、「九州・ベトナム経済交流事例報告会」を開催し、Ｋ－ＲＩＰによるベトナム展開の取組を現地政府関係者や日系企業等に紹介しました。

＜スケジュール＞

日程	用務（訪問先）	都市名
2月21日（日）	※移動：福岡→ホーチミン	ホーチミン市
2月22日（月）	◇タイソングループ（防衛省傘下大手国営企業） ◇CEO Link（ベンチェ省ビジネス協会） ◇MOU締結セレモニー（ITPC／ホーチミン投資・貿易促進センター）	ホーチミン市
2月23日（火）	◇ホーチミン農業ハイテクパーク ◇ノン・ベト ※移動：ホーチミン→ハノイ	ホーチミン市 ハノイ市
2月24日（水）	◇農業農村開発省　穀物生産局 ◇AMA（不動産投資・開発会社） ◇ハノイ環境保護基金（ハノイ市環境・天然資源局傘下） ◇ハノイ市資源環境局 ◇九州・ベトナム経済交流事例報告会	ハノイ市
2月25日（木）	◇商工省（エネルギー担当部門） ◇科学技術省標準品質管理局	ハノイ市
2月26日（金）	※移動：ハノイ→福岡　（早朝着）	

（１）Ｋ－ＲＩＰ会員企業と現地企業等とのＭＯＵ締結】

・(株)ヤサキ×アンダオ社　実証試験に係るMOUの締結
・丸和バイオケミカル(株) ×アンダオ社　実証試験に係るMOUの締結
・(株)環境緑化保全コンサルタント×ティントゥアン社　共同試作品開発契約







（２）九州・ベトナム経済交流事例報告会

【日　時】2016年2月24日（水）　17：30～19：00

【場　所】ハノイ　デウーホテル　GARDEN＆ORCHID

【参加者】ベトナム側政府関係者（在福岡総領事ほか）、現地日系企業　等

【プログラム】

［テーマ］九州農業成長産業化連携協議会の取組について

［講演者］九州経済産業局　農林水産業成長産業化支援室　川原室長

［テーマ］アンザン省における高度農業技術移転に基づく栽培作物の多様化を通じた
土壌条件の改善並びに農民所得向上支援のためのパイロットプロジェクト

［講演者］佐賀大学　農学部　辻准教授

［テーマ］九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）の
ベトナム環境プロジェクト組成の取組及び会員企業による取組事例の紹介

［講演者］九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）　嶋田統括マネージャー

［テーマ］くりんかロード工法舗装のベトナムでの事業展開について

［講演者］(株)環境緑化保全コンサルタント　楳木常務取締役



Ｋ－ＲＩＰ　嶋田マネージャー



（株）環境緑化保全コンサルタント

（３）関係機関訪問によるプロジェクト具体化や新規案件獲得に係る協議



農業農村開発省　穀物生産局



商工省エネルギー担当部門



科学技術省標準品質管理局



ホーチミン農業ハイテクパーク



タイソングループ（国営企業）



ベンチェ省ビジネス協議会

Ⅱ.技術シーズ発信・個別商談会

環境関連企業の新分野進出を支援するため、自治体、支援機関等と連携し、九州内外の大型環境見本市等（エコテクノ 2015（北九州市）、びわ湖環境ビジネスメッセ 2015（滋賀県長浜市））の機会を活用した技術シーズの発信・個別商談会を開催しました。

１．エコテクノ 2015

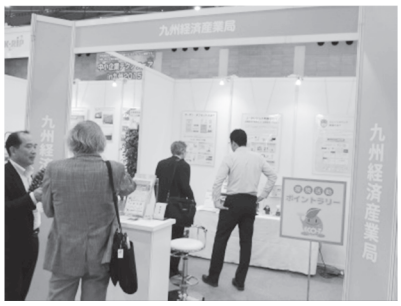
【日　時】2015 年 10 月 8 日（木）
※エコテクノ 2015 は 10 月 8 日～10 日に開催

【場　所】西日本総合展示場　新館（北九州市小倉北区浅野３丁目８－１）

【内　容】

（１）クリーン技術新分野進出セミナー＆ブース出展

テーマ	発表者
（環境×建設・防災） バイオマス資源活用の土系舗装材のご提案～ 建設・防砂事業から環境分野への挑戦	【展示ブース出展】 日本乾溜工業㈱ 営業統括部　営業推進グループ 部長代理　浜嶋　博昭　氏
（環境×農業） 食品廃棄物地域循環圏形成サービス ～循環型社会が農業を強くする～	【展示ブース出展】 楽しい㈱ 代表取締役　松尾　康志　氏
（環境×コスメティック） 加圧熱水処理方法とそのシステムによる「植物系バイオマスからの有用物質抽出及び商品化」について	【展示ブース出展】 ㈱ミゾタ 環境技術研究所 執行役員所長　土井　研一　氏
（建設×エネルギー） 「自然と共生できる社会の創造 ～建設業から環境事業への展開」	篠田㈱　環境事業部福岡事務所 所長　仁位　正博　氏 ディン　トゥイ　リン　氏
（レンタルサービス×エネルギー） 「再生可能エネルギー100％を利用したコミュニティサイクルシェアリング事業について」	川重商事㈱　事業開発推進本部 環境・エネルギー部１課 課長　岡村　圭介　氏



出展ブース風景


セミナー風景



出展ブース風景

２．びわ湖環境ビジネスメッセ 2015

【日　時】2015 年 10 月 22 日（木）

※びわ湖環境ビジネスメッセ 2015 は 10 月 21 日～23 日に開催

【場　所】滋賀県立長浜ドーム（滋賀県長浜市田村町 1320）

【内　容】

（１）ファインバブルセミナー

［テ ー マ］「ファインバブル技術最前線と応用例」

［概　　要］環境負荷を低減する水質浄化や工業分野での高機能洗浄はもちろんのこと、農業分野での植物成長促進、機能性農作物・食品等の創生など、広範囲な産業応用、今後の市場拡大が期待されているファインバブル及びウルトラファインバブル技術の最新動向と応用事例を紹介する。

［基調講演］

慶応義塾大学　理工学部応用化学科

教授　寺坂　宏一　氏

((一社)ファインバブル産業会　理事)

［企業プレゼン］

株式会社ワイビーエム（ＦＢＩＡ正会員）

株式会社多自然テクノワークス（ＦＢＩＡ理事）



慶応義塾大学　寺坂　氏



㈱ワイビーエム　吉原　氏



㈱多自然テクノワークス
梨子木　氏



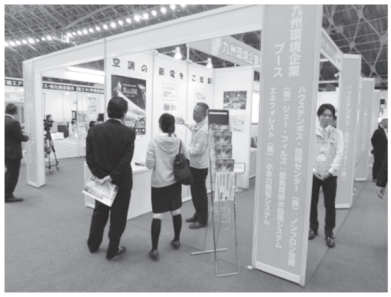
講演風景

（２）出展社プレゼンテーション

テーマ	発表者
小水力発電による地域活性化と地産地消モデル	エネフォレスト㈱ 代表取締役　木原　倫文　氏
高濃度有機排水の処理を可能にした酵素活性化法 ＣＭシステム	㈱ジェー・フィルズ 代表取締役　谷　一身　　氏
ハウステンボスで省エネ ～次世代ノンフロンガスでエアコン 30%節電～	ハウステンボス・技術センター㈱ 取締役　営業企画室長 鶴田　修一　氏



プレゼンテーション



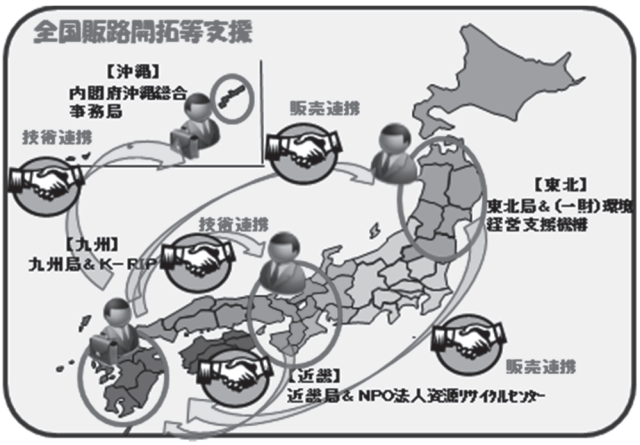
出展ブース風景



商談風景

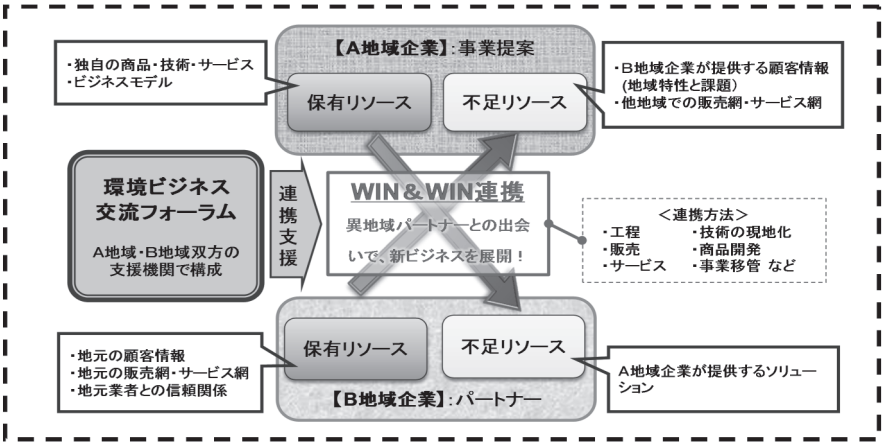
Ⅲ.環境ビジネスアライアンス マッチング事業

各地域の支援機関等と連携し、九州地域の枠を超え全国展開へ向けたビジネスチャンスを広げるため、「環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー」を開催しました。本事業は、中堅・中小企業同士が「製品・サービス等の開発」・「技術開発」・「販売網開拓」等のリソースを相互に補完し合うことにより、新たな事業の創出・展開を図ることを目的とした事業で、今年度は全国５カ所で企業のプレゼンテーション及び個別商談会を開催しました。



協力：環境ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏｯﾁﾝｸﾞｾﾐﾅｰ運営協議会

（東北経済産業局、近畿経済産業局、九州経済産業局、内閣府沖縄総合事務局、（一社）環境経営支援機構、資源リサイクルシステムセンター、Ｋ－ＲＩＰ）



１．北九州地区セミナー開催

【日　　時】平成27年10月8日（木）13：30～16：30
【場　　所】エコテクノ2015　セミナー会場D（福岡県北九州市）
【プレゼン企業】4社（近畿地区2社、中部地区1社、沖縄地区1社）
【商談件数】13件


プレゼンテーション風景


商談風景

２．近畿地区セミナー開催（尼崎）

【日　　時】平成27年10月15日（木）10：00～17：00
【場　　所】あましんアルカイックホール・オクト　（兵庫県尼崎市）
【プレゼン企業】3社（関東地区1社、
会員企業2社：㈱環境緑化保全コンサルタント・㈱エスケー石鹸）
【商談件数】3件



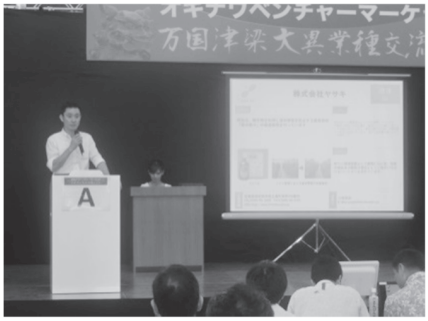
プレゼンテーション風景



商談風景

３．沖縄地区セミナー開催（沖縄）

【日　　時】平成27年12月1日（火）13：00～17：00
【場　　所】沖縄セルラーパーク那覇（沖縄県那覇市）
【プレゼン企業】5社（近畿地区2社、沖縄地区1社、
会員企業2社：東京産業㈱西日本支店・㈱ヤサキ）
【商談件数】12件



プレゼンテーション風景



商談風景

４．近畿地区セミナー開催（大阪）

【日　　時】平成28年2月4日（木）10：00～17：00
【場　　所】阪急ターミナルビル17階　ふじの間、いちょうの間
【プレゼン企業】6社（中部地区2社、沖縄地区1社、
会員企業3社：㈱宮防、㈱ジェー・フィルズ、㈱環境緑化保全コンサルタント）
【商談件数】7件



プレゼンテーション風景



商談風景

５．関東地区セミナー開催（川崎）

【日　　時】平成28年2月18日（木）13：30～16：00
【場　　所】川崎国際環境技術展2016
【プレゼン企業】9社（関東地区3社、中部地区2社、近畿地区2社、
会員企業2社：エネフォレスト㈱、㈱トワード）
【商談件数】4 件



プレゼンテーション風景



商談風景

Ⅳ．環境技術の一次産業への展開事業

（環境イノベーションフォーラム開催）

「新分野進出」をテーマに、九州経済産業局、（一財）九州産業技術センター、（一社）九州経済連合会、環境省九州環境パートナーシップオフィス（ＥＰＯ九州）、九州農政局、鹿児島県等と協力し、環境･エネルギー関連中小企業と一次産業関係者等とのビジネスマッチングの機会を創出しました。

１．環境イノベーションフォーラム　in　鹿児島

【日　時】平成28年1月26日（火）14：00～
【場　所】鹿児島商工会議所ビル　4階アイムホール
【主　催】九州経済産業局、（一財）九州産業技術センター、（一社）九州経済連合会
　　環境省九州環境パートナーシップオフィス（ＥＰＯ九州）
　　九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-ＲＩＰ）
【後　援】九州農政局、鹿児島県
【参加人数】116 名　交流会 47 名
【内　容】

＜特別講演＞

〔テーマ〕「小さな泡が世界を変える～ウルトラファインバブルの可能性を探る～」
〔発表者〕株式会社ワイビーエム　　技術担当取締役　　増本　輝男　氏

＜企業プレゼン＞

〔テーマ〕「畜産業における繁殖性向上技術及びそれにともなう生活環境の改善」
〔発表者〕株式会社コムテック（宮崎）　　代表取締役会長　　笹栗　紘二　氏

〔テーマ〕「～省エネに貢献～全自動子豚保温装置≪ワンタッチＢＯＸ≫」
〔発表者〕株式会社ニチメン工業（宮崎）　　代表取締役社長　　田中　光夫　氏

〔テーマ〕「物理的海棲生物付着防止塗料を活用した環境保全型養殖技術の展開
～養殖水産物国際流通時代への対応技術～」
〔発表者〕株式会社西海養殖技研（長崎）　　研究開発担当　　北原　研司　氏

〔テーマ〕「省エネ型大光量集魚用ＬＥＤ照明のご紹介」
〔発表者〕交和電気産業株式会社（鹿児島）　開発部　統括部長　　堂後　勝志　氏

〔テーマ〕「黒糖焼酎粕のキクラゲ菌床利用による島内循環システムの構築」
〔発表者〕鹿児島工業高等専門学校（鹿児島）　　教授　　山内　正仁　氏



㈱ワイビーエム　増本　氏



㈱コムテック　笹栗　氏



㈱ニチメン工業　田中　氏



講演風景



交流会風景



㈱西海養殖技研　北原　氏



交和電気産業㈱　堂後　氏



鹿児島工業高等専門学校
山内　氏

２．環境イノベーションフォーラム　in　福岡

【日　時】平成27年11月27日（金）14：00～16：30
【場　所】ハイアットリージェンシー福岡　２Ｆ　リージェンシーⅠ
【主　催】九州経済産業局、（一財）九州産業技術センター
　　九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（Ｋ－ＲＩＰ）
【参加人数】96 名
【講　演】
〔テーマ〕「金融機関から見た水素社会等」
〔発表者〕日本政策投資銀行（ＤＢＪ）　　常務執行役員　廣實　郁郎　氏

〔テーマ〕「小さな泡が世界を変える～ウルトラファインバブルの可能性を探る～」
〔発表者〕株式会社ワイビーエム　　取締役　技術本部長　増本　輝男　氏



日本政策投資銀行　廣實　氏



講演風景



㈱ワイビーエム　増本　氏

九州経済界との交流イベント

Ⅴ．環境ビジネス交流会

－九州経済連合会　資源エネルギー・環境委員会との共同開催事業－

市場拡大を目指す中小企業とそのシーズを活用する大企業とのビジネスの形成を促進するため、(一社)九州経済連合会と連携し、九州地域における環境・エネルギー分野に関連する大手企業が一堂に会する機会を活用して開催しました。

【開催日時】平成 27 年 12 月 9 日（水）14：10～

【開催場所】電気ビル共創館３F（福岡市中央区渡辺通 2-1-82）

【主　　催】九州経済産業局、
（一社）九州経済連合会、　(一財)九州産業技術センター
九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（Ｋ－ＲＩＰ）
九州ソーラー＆クリーンエネルギーネットワーク（ＳＯＮＥＱ）

【参加人数】講演会 66 名／交流会 55 名

【基調講演】

〔テーマ〕「蓄電池戦略について」

〔講演者〕資源エネルギー庁　省エネルギー・新エネルギー部政策課　豊川　竜太　氏



資源エネルギー庁　豊川　氏



講演会　風景

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「大容量蓄電池のニーズと特徴」

〔発表者〕ＬＥシステム株式会社　代表取締役社長　佐藤　純一　氏　（福岡県久留米市）

〔テーマ〕「ＰＶシステム低コスト汎用リサイクル処理技術開発」

〔発表者〕株式会社新菱　企画管理部企画調整室　室長　斉藤　寛　氏　（福岡県北九州市）

〔テーマ〕「～省エネに貢献～パイプ曲げ加工に関する技術開発の経緯と現状」

〔発表者〕日建エンジニアリング株式会社　代表取締役　籾井　隆志　氏　（福岡県直方市）

〔テーマ〕「すぐできる！環境とお財布にやさしい新しいハイブリッドのご提案」

〔発表者〕株式会社ファイブホーカーズ　代表取締役社長　松尾　和磨　氏　（福岡県久留米市）

■環境ビジネス交流会



ＬＥシステム㈱　佐藤　氏



㈱新菱　斉藤　氏



日建エンジニアリング㈱　籾井　氏



㈱ファイブホーカーズ　松尾　氏



商談　風景



交流会　風景

Ⅵ. 環境ビジネスの創出と人脈形成の場「エコ塾」

―月１回程度開催―

環境ビジネスの創出、新市場開拓、異業種との連携・マッチング等を目的に、企業や研究者による自社製品・技術・サービス・ビジネスモデル等の発表会としてエコ塾を九州経済産業局と連携して福岡市内で定期的に開催しました。特に 12 月・1 月については、他機関（フクオカベンチャーマーケット協会（以下「FVM」という）、ＳＯＮＥＱ）と合同開催することで、異業種融合等によるマッチングを図りました。今回は第 92 回～95 回までの概要を報告いたします。

１．第 92 回エコ塾　　大気環境ビジネス

【開催日時】平成 27 年 11 月 12 日（木）17：00～

【参加人数】講演会 45 名／交流会 36 名

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「素材革命、始まる。燃焼時にＣO2 を削減する新技術『エコナノ』」

〔発表者〕サトーグリーンエンジニアリング株式会社　　代表取締役社長　徳永　清徳　氏

〔概　要〕「エコナノ」を含んだ製品は、燃焼時に発生するＣO2 を削減します。サトーホールディングス株式会社と東京理科大学、アクテイブ株式会社が共同開発した「エコナノ」。エコナノは東京理科大学阿部正彦教授が開発した「ナノベシクルカプセル」を応用したもので、液状やペレットにすることで、さまざまな製品に応用できます。

〔テーマ〕「光触媒機能（消臭・殺菌）を利用した新たな空気質浄化方法のご提案」

〔発表者〕株式会社フジコー　技術開発センター

常務取締役　技術開発センター長　永吉　英昭　氏

〔概　要〕弊社は光触媒溶射の技術開発により、タイル、空気清浄機の製品化（MaSSC シリーズ）を進め、市場開拓を行なってきました。最近では従来の製品よりも大型の空間脱臭機能を備えた装置（ソーラーリアクター）を開発しました。この装置は太陽光を利用し、光触媒の持つ脱臭機能を最大限に生かした製品であり、大規模工場の塗装ライン、汚泥処理場等で採用され始め、戦略的差別化製品として展開しております。また、臭気問題を抱えている他の分野(医療および畜産等)においても、実証研究を進めている段階にあり、その一例も紹介いたします。

〔テーマ〕「大気を浄化する壁面緑化システムのご紹介」

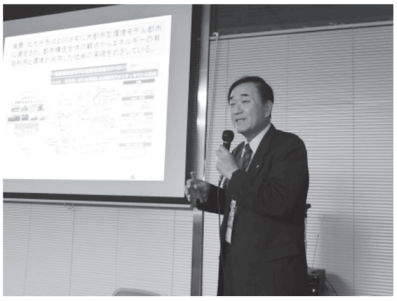
〔発表者〕大和ハウス工業株式会社　総合技術研究所　フロンティア技術研究室

西部　洋晴　氏

〔概　要〕近年、PM2.5 など大気環境への関心が高まっていることから、壁面緑化の土壌を浄化フィルターとして活用する「大気浄化壁面緑化システム」を開発しました。ファンから吸い込まれた大気汚染物質は背面から土壌に通気され、前面からキレイな空気となって出てきます。汚染物質は土壌に吸着し、植物に吸収され、微生物が分解するため、自然の仕組みによる持続的な効果が期待できます。従来の水平式土壌型大気浄化システムと比べて省スペースが可能となり、二酸化窒素は約 90%、PM2.5 は約 65%浄化することができます。



ｻﾄｰｸﾞﾘｰﾝｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ㈱　徳永　氏



㈱フジコー　永吉　氏



大和ハウス工業㈱　西部　氏



講演会　風景



交流会　風景

【ショートプレゼンテーション】

〔発表者〕株式会社ティオシステムズ　顧問　小森　淳一　氏

〔発表者〕有限会社福重環境機器　取締役社長　重冨　政教　氏

〔発表者〕ＡＧＣ硝子建材株式会社　九州支店　中山　雄介　氏

〔発表者〕株式会社ユニティクス　代表取締役社長　池田　朗　氏

２．第 93 回エコ塾　「FVM　with　エコ塾　2015」

【開催日時】平成 27 年 12 月 16 日（木）15：50～

【参加人数】講演会 93 名／交流会 29 名

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「日本で唯一！廃食油リサイクル石けんの製造販売」

〔発表者〕エスケー石鹸株式会社　　常務取締役　営業部長　立花　静　氏

〔概　要〕廃食油を有効活用したリサイクル石けんシステムは、CSR 活動として資源のリサイクルを通じて循環型社会を実現する目に見える環境活動です。使用済み食用油を排出する企業様にこのシステムへ参画と高品質のエコマーク認定商品の石けんのご使用をご提案します。

〔テーマ〕「未利用バイオマスの活用で循環型社会を目指す！」

〔発表者〕株式会社三井アール・ディー　　濵平　努　氏

〔概　要〕高価なポリ乳酸を使わない、全く新しい低価格バイオマス容器の製造が出来ます。電子レンジにも冷凍にも対応。プラスティック・発泡スチロールの代替品として利用可能。原材料は地域の未利用バイオマス。地域の循環型経済を作り出すエコロジー商品です。

〔テーマ〕「地熱エネルギー(地熱利用型熱交換システム)×次世代農業」
〔発表者〕株式会社タカフジ　食品・アグリ事業　　部長　松尾　崇史　氏
〔概　要〕熱の有効活用事業の提案をいたします。現状は主に農業暖房を対象としたシステムを導入中です。難しいと言われる営農の生産コストと直結する暖房費（従来の化石燃料型ボイラー使用量）の低減が可能となります。また排熱を有効活用し付加価値アップを図ることができます。



エスケー石鹸㈱　立花　氏



㈱三井アール・ディー　濵平



㈱タカフジ　松尾　氏



講演会　風景



交流会　風景

３．第 94 回エコ塾　　環境・エネルギー×農業

【開催日時】平成 28 年 1 月 14 日（木）16：30～
【参加人数】講演会 77 名／交流会 33 名
【プレゼンテーション】
〔テーマ〕「再エネを用いた強い農業経営と街づくり」
〔発表者〕グリーンリバー株式会社　代表取締役　長瀬　勝義 氏
〔概　要〕再生可能エネルギーと農業をテーマに、弊社が取り組んでいるエネプラントとアグリトピアの構想について紹介します。
　エネプラントは、農業の先進化とエネルギー問題を解決するために考案した新しい太陽光利用型植物工場です。太陽光発電を電源として使用し、エネルギー価格変動の影響を受けにくくすることで強い農業を目指しています。
　将来的にはエネルギーの完全自家消費型栽培を確立し、これらの研究・技術を応用することでエネルギーと生産・地産地消、消費・雇用が生まれた強い地方の確立が我々の目指しているアグリトピアです。

〔テーマ〕「水銀灯に比べ消費電力 1/3、寿命 8 倍（10 万時間）を実現したＥＬＩランプ」
〔発表者〕天草池田電機株式会社　商品事業部 部長　　松本　勇 氏
〔概　要〕無電極誘導ランプと呼ばれる電極の無い蛍光灯で工場に使用されている水銀灯に変わる長寿命・省エネ・目に優しい次世代照明です。今後、農業用ビニールハウスや植物工場、畜舎等への活用・展開も視野に入れています。

【施策紹介】
〔テーマ〕「省エネ投資の支援策について」
〔発表者〕九州経済産業局資源エネルギー環境部 エネルギー対策課

〔テーマ〕「平成 28 年度予算等の施策について」
〔発表者〕九州経済産業局資源エネルギー環境部 環境対策課


グリーンリバー㈱ 長瀬 氏


天草池田電機㈱ 松本 氏


講演会 風景

【ショートプレゼンテーション】
〔発表者〕日港事務顧問 張 凱翔 氏
〔発表者〕AGC 硝子建材株式会社 九州支店 中山 雄介 氏
〔発表者〕篠田株式会社 環境事業部 福岡事務所 所長 仁位 正博 氏

４．第 95 回エコ塾 ～新しい環境ビジネス～

【開催日時】平成 28 年 2 月 10 日（木）17：00～
【参加人数】講演会 59 名／交流会 41 名
【プレゼンテーション】
〔テーマ〕「石けんをベースにした消火剤の開発」
〔発表者〕シャボン玉石けん株式会社 専務取締役 高橋 道夫 氏
〔概 要〕無添加石けんの製造会社と北九州市消防局・北九州市立大学が連携し、海外で頻繁に発生している森林火災や泥炭火災に役立てようと開発した「石けん系消火剤」がインドネシアで販売されました。
現在、海外の森林火災現場で使われている製品は石油から作られている合成界面活性剤を主成分とした消火剤ですが、環境負荷が問題視されています。シャボン玉石けんが開発した消火剤は植物油脂が原料のため生分解性が高く「環境にやさしい」製品です。現在、地球環境保護の観点からも、九州発の石けん系消火剤を必要とする国も多くなることでしょう。

〔テーマ〕「風力発電のメンテナンス事業のご案内」
〔発表者〕有限会社イー・ウィンド 専務取締役 田上 秀人 氏
〔概 要〕当社は長崎県五島に本社をおく、風力発電設備保守メンテナンス専業の企業です。平成 20 年に五島の風力発電設備の増加、業界の将来性を見据え、建設業から業種転換しました。
主に、メーカー様からの依頼を受け、点検、エラー対応をする業務と、設備近辺に常駐し運営保守管理する業務を行っています。

現在は、風力発電設備の安定した運用に必要となる業務をいち早くとらえ、２４時間遠隔監視業務、ロープアクセスによる外部点検等を計画・検証を重ねた上で事業化し、さらに非破壊検査等の技術習得に取り組んでいます。

〔テーマ〕「高濃度オゾン溶解システム『Nano Cubic』」
〔発表者〕株式会社ピーエムティー　環境事業責任者　那須　一男　氏
〔概　要〕高濃度オゾン溶解システム「Nano Cubic」は、少ない消費電力かつ低酸素濃度でも高濃度の溶存酸素水やオゾン溶解水を生成することが可能な小規模需要にも対応可能なシステムです。

今回は、陸上養殖・排水処理浄化向けシステム、殺菌・除菌・脱臭向けなど、「Nano Cubic」シリーズの各製品や、更なる用途開発に向けた最新の取組をご紹介します。


しゃぼん玉石けん㈱　高橋　氏


㈲イー・ウィンド　田上　氏


㈱ピーエムティー　那須　氏


講演会風景


交流会風景

【ショートプレゼンテーション】
〔発表者〕福岡県リサイクル総合研究センター　研究開発課　課長　　居倉　修史　氏
〔発表者〕篠田株式会社　環境事業部　福岡事務所　　國村　祐佳子　氏
〔発表者〕株式会社ミカサ　代表取締役　　三笠　大志　氏

Ｋ－ＲＩＰマネージャー紹介

Ｋ－ＲＩＰの各事業を効果的・効率的に進めるため、統括マーネジャー１名マネージャー１名を配置し、会員企業様のお役立ちになればと活動しています。

ご要望等がありましたらお気軽にご相談ください。



統括マネージャー　嶋田（しまだ）　駿一（しゅんいち）（出身　福岡県）

□経歴：西南学院大学大学院文学研究科国際文化専攻博士後期課程修了
中日ビジネスサポート㈱（ｱｼﾞｱﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ）

□趣味：旅行、お酒

□一言：　Ｋ－ＲＩＰのマネージャーとして、皆様のサポートをさせて頂く中で、環境分野においても人と人との出会いから新たなビジネス、新たな市場が生まれることを実感しています。
ネットワーク組織ならではの強みを活かし、九州から全国、そしてアジアへ、皆様のビジネス拡大の支援に務めます。



マネージャー　杉迫（すぎさこ）　寿隆（すみたか）（出身　福岡県）

□経歴：福岡大学経済学部経済学科卒業
個人にてウェブサイト制作業

□趣味：野球観戦、お酒

□一言：　今年度からマネージャーを努めさせていただいています杉迫と申します。若輩ではございますが「九州発の環境ビジネスを世界へ」を合言葉に、熱い思いを持たれている皆様のお役に立てますよう、コミュニケーションを大事にして、明るく前向きに努めます。ぜひお気軽にお声かけください。

【トピックス】
「経済産業大臣賞」・「環黄海経済・技術交流大賞」受賞

Ｋ－ＲＩＰはその活動を国をはじめ、外部支援機関から高く評価され、今年度、２つの団体から表彰されました。これも偏に会員の皆様のご協力とご努力、そしてＫ－ＲＩＰをご支援いただいております関係各所の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

１．「経済産業大臣賞」受賞

平成 28 年 3 月 4 日、第５回地域産業支援プログラム表彰（イノベーションネットアワード 2016）において、その最上位である「経済産業大臣賞」を受賞しました。この表彰制度は、各地域における新事業・新産業創出に向けた優れた取組みを評価し、地域産業の振興・活性化に「流れ」を創ることを目的に平成 23 年度に創設されております。

今回は『海外展開支援プラットホーム構築による環境ビジネス創出支援事業』で、新事業・新産業創出に関して持続的に成功事例を生み出している、特に優れた支援システムという評価をされての受賞です。





２．「2015 年　環黄海経済・技術交流大賞」受賞

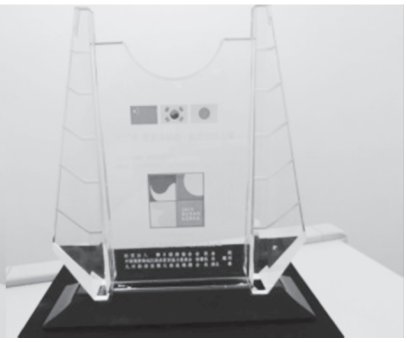
平成 27 年 11 月 4 日、環黄海経済・技術交流会議より「2015 年環黄海経済・技術交流大賞」を受賞しました。

この賞は、環黄海地域内で先進的な活動を続けてきた企業・団体を対象に、日中韓３ケ国で表彰するもので、今年度新たに創設されております。

Ｋ－ＲＩＰの 16 年間の活動が、環黄海地域内の「環境問題、エネルギー問題の解決への貢献」、「環境ビジネスの機運醸成」、「環境産業の発展に資する取組み」などの面で評価されての受賞となりました。







【お知らせ】

「一次産業に活かせ！九州の環境技術シーズ集」を作成しました。

九州の環境技術の一次産業分野への展開促進を目的として『一次産業に活かせ！九州の環境技術シーズ集』を作成しました。

本冊子では、農・畜・水産分野に活用できる九州の先端環境技術５１事例を「①生産」「②加工・流通・販売」「③廃棄物等リサイクル」の３つのプロセス別に紹介しています。また、技術・製品の概要紹介に加え、「環境配慮」となるポイントを分かりやすくまとめています。

一次産業従事者はもちろんのこと、今後、一次産業への参入を検討されている企業の方、技術的な提携先を探されている方にも参考になる内容となっています。

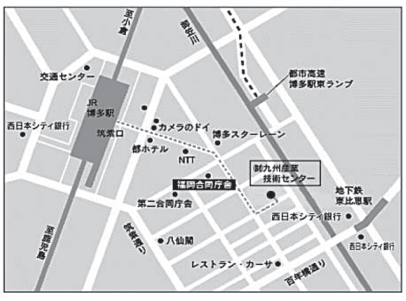
九州の強みである環境技術と一次産業を融合させることで、循環型一次産業モデルを構築し、地域での新たなイノベーション創出を図ります。





冊子は、以下のＵＲＬからダウンロード可能です。
http://www.k-rip.gr.jp/news/?p=6170

【Kyushu Recycle and Environmental Industry Plaza】(K－RIP)
九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）事務局
〒812-0013
福岡市博多区博多駅東２丁目13－24
(一財)九州産業技術センター内
TEL 092－474－0042
FAX 092－472－6609
URL http://www.k-rip.gr.jp/
e-mail info@k-rip.gr.jp



※本情報誌は、経済産業省の委託事業「新分野進出支援事業」として作成しています。